

## 書評

## 看護師長ハンドブック



- 編集 古橋洋子
- 定価 本体 2200 円＋税
- 発行 医学書院

評者

医療法人平和会平和病院  
副院長・看護部長・医療部副部長  
認定看護管理者  
原 久美

## 看護師長になる人に勧めたい 1 冊

## まだまだ不十分な管理者研修

初めて看護師長になるとき、多くの人  
は「自分に看護師長が務まるだろうか」  
「看護師長になって自分は何をすればよ  
いのか」と不安を抱えていることだろ  
う。

近年、どこの医療機関でも看護師教育  
体制の整備は進んでいるが、看護師長就  
任までに十分な管理者研修を受けている  
人はまだまだ少ない。管理者育成まで系  
統立てて教育する体制が整備された医療  
機関は、まだ少ないのが実情である。

多くの看護師長は、その役割を理解す  
ることも、心構えをする間もなく、自分  
が管理・運営する部署に配置になったそ  
の瞬間から、待たなしに、日々の雑多  
な問題に追われることになる。

私が初めて看護師長になったときに  
は、考える間もなく日々の問題の対応に  
追われてしまい、半年、1 年経って、は  
たと「自分は看護師長として何ができて  
いるのか」と思い至った。当時の看護部  
長には何度も悩みを相談し、その勧めで  
看護管理の方法を学習したり、日本看護  
協会が行っていた看護婦長研修（現在の  
認定看護管理者教育課程ファーストレベ  
ル）に参加させていただいた。これらを通  
して、看護師長としての自己の行動を  
振り返り、看護師長としてどのように行  
動すべきだったかを考え、手探りで部  
署の管理運営方法を見出していったこと  
をよく覚えている。

どの時期に何を行えばよいかが  
具体的にわかる

本書には、看護師長になった初日から  
看護師長がスタッフと信頼関係を築いて  
いくための、具体的な行動や心構えが一  
覧でまとめられている。配置初日からス  
タッフは新しい看護師長を観察している

こと、だからこそ看護師長の側から笑顔  
で声をかけることが大切であるとまず書  
かれていることが印象的である。

どの看護管理者も、これまでの経験を  
もとに、新任の看護師長としての第一歩  
を指導してきたと思うが、それが配置直  
後から段階的に、どのような意図で進め  
ていくべきかが本書に整理されているの  
である。

配置直後から 3 か月目までの時期を考  
慮した行動や、スタッフ管理、看護管理、  
職場管理に関する事項、スタッフ育成な  
ど、年間を通して、また長期的視点で取  
り組まなければならないポイントなどが  
細やかにまとめられている。またスタッ  
フ育成についても、新人看護師、中堅看  
護師、中途採用看護師、主任など対象者  
別に、どの時期にどう関わるかを具体的  
に示している。

各章を読んで看護師長に求められる役  
割を理解し、意識して行動すれば、看護  
管理者としての第一歩を踏みだしやす  
くなるだろう。

看護部長の立場で読んでも  
活用できる 1 冊

本書を読んで、自分が初めて看護師長  
になった 20 年前に手元に欲しかったと  
心から思った。これから看護師長になる  
人には、ぜひ本書を看護師長として部署  
を管理・運営するための一助としていた  
だきたい。

また、看護部長の立場で本書を読む  
と、看護師長になった当時の自身の戸惑  
いや手探りで管理方法を工夫してきた苦  
労が思い出される。後進の看護師長が最  
初の 1 年間で戸惑い少なく管理・運営で  
きよう、本書を基に自施設の看護管理  
マニュアルを見直し、整備したいと考え  
ている。